



目次

- 【1】 競技概要
- 【2】 競技フィールド
- 【3】 大会の進行
- 【4】 試合開始前の待機姿勢
- 【5】 試合の開始
- 【6】 試合の中断・再開について
- 【7】 試合結果の決定
- 【8】 競技者装備の規定
- 【9】 装備品の検査
- 【10】 ペナルティ・キャリー・フォワード・システム
- 【11】 禁止行為規定
- 【12】 禁止行為規定（ペナルティ）
- 【13】 競技規則
- 【14】 特記事項
- 【15】 免責事項

【1】競技概要（60チーム参加の場合）

- 1チーム2名
- 殲滅戦
- 試合時間2分間
- 1本勝負のトーナメント戦
- 競技で使用するBB弾の重量は、0.2g限定とする。
- 蓄光弾を発光させるトレーサー装着は必須とするが、加工して使用することは禁止とし、必ず純正状態で使用すること。
- また、UAB2で使用可能なトレーサーの種類は、UAB運営事務局指定のもののみとする（【8】競技者装備の規定参照）。
- 競技中に使用できるエアソフトガンは、2挺までとする。
- 弾数は、1プレイヤーにつき、100発までとする。エアソフトガンを2挺持ち込んだ場合、合計100発までとする。

【2】競技フィールド

- 競技で使用可能なフィールドは、運営が指定したエリア内のみとする。
- スタート位置は、あらかじめ決められたポジションとする。
- 競技フィールド内のバリケード等の位置は、事前に運営から正確な配置を発表する。なお、運営の許可なく、それらの位置を変更することは禁止とする。（下図参照）



【3】大会の進行

- 大会当日、抽選にて全試合の試合順と組み合わせを決定する。

【4】試合開始前の待機姿勢

- 対戦チーム同士の挨拶の後、主審からの指示を受けたプレイヤーは、速やかにスタートBOXの位置へ移動すること。
- スタートBOX位置へ移動するよう指示を受けてから、試合開始のホイッスルが鳴るまでの間、選手入場口に設置してある試射BOX以外での一切の試射を含む射撃を禁止とする。
- プレイヤーは、スタート位置の「スタートBOX」内で、両足を地面につけて待機すること。

【5】試合の開始

- 主審のコール後、直ちに試合開始へ向けた40秒間のカウントダウンに入る。

【40秒間カウントダウンの流れ】

30秒間のBGM → 10秒前から5秒前までカウントダウン → 5秒間の無音 → 電子ホイッスルを鳴らすと同時に試合開始。

その際、スタート位置として指定された自陣フラッグにマズル（エアガンの先端）が接触した状態、かつスタートBOXのラインを踏んではいけない。

【6】試合の中断・再開

- 試合中、審判が電子ホイッスルや笛を鳴らした場合、ただちに時間計測を停止し、試合を一時中断する。
- 競技中のプレイヤーは全員、審判の指示に従い、待機すること。その際、下を向き私語を禁止とする。
- 審判が裁定後、15秒前のコールをし、15秒後のホイッスルにて試合を再開する。
- その際、スタート位置として指定された自陣フラッグにマズル（エアガンの先端）が接触した状態でなければならない。
- 再開後は、アライブプレイヤーのみで競技を続行し、試合時間は中断時点からの計測とする。

【7】試合結果の決定

- 相手チームを殲滅したチームを「勝利」とする。
 - 2分間で試合の決着しない場合、アライブ状態のプレイヤー数が多い方のチームを「優勢勝ち」とする。
 - 試合終了時点のアライブプレイヤー数が同数だった場合、再試合とする。
 - トーナメントにおいて再試合となった場合、陣地を入れ替えて行う。
- ※再試合で決着しない場合、「チームリーダー同士のジャンケン」で勝敗を決する。
- ※準決勝は再試合を2試合(本戦含む合計3試合)までとし、決勝は再試合を3試合(本戦含む合計4試合)までとする。

【8】競技者装備の規定

- 使用するエアソフトガンの初速は、下限0.36J以上～上限0.903J未満（参考：0.2g弾＝初速60m/s～95m/s）とする。当日の運営用意の弾速計の数値が1挺でもオーバーした場合、オーバーした初速が法定基準値以下であれば、その装備を使用禁止とし、法定基準値超だった場合は当該プレイヤーが所属するチームを失格処分とする。また、数値の下限を下回った場合も、その装備品の使用を禁止する。
- 競技で使用するBB弾の大きさは、直径6mm限定とする。
- 競技で使用するBB弾の重量は、0.2g限定とする。
- 競技で使用するBB弾の種類は、東京マルイ製の蓄光弾「**NEW発光BB弾**」もしくはG&G ARMAMENT製の蓄光弾「**G-07 トレーサー弾（緑色かつプラスチックのみ。バイオ弾は使用不可。）**」のみとする。
- 蓄光弾を発光させるトレーサー装着は、必須とする。また、UAB2で使用可能なトレーサーの種類は、下記のみとする。

- ・ ACETECH製「AT1000フルオートトレーサー」
- ・ ACETECH製「AT2000フルオートトレーサー」
- ・ ACETECH製「LIGHTER ミニトレーサーユニット」
- ・ Xcortech製「XT301」
- ・ Xcortech製「XT501」

- トレーサーは、加工は禁止とし、必ず純正状態で使用することとする。
- 弾数は、1プレイヤーにつき、1試合100発までとする。
- 携行するBB弾は、全てマガジンに入れた状態とし、BBローダー等の持ち込み不可とする。使用するマガジンの種類や個数は、自由とする。
- フェイスガードの装着は、必須とする。
- 安全上の観点から、アイウェアについては、シューティンググラスやメッシュタイプゴーグルの使用は禁止とする。ただし、シューティンググラスにゴムバンドおよび隙間対策を施したものであれば使用可能とする。
- 減速アダプターの使用は、禁止とする。
- トリガーについて以下の「スリー・1・ルール」を遵守し、トリガーの長さはベースモデルの実銃の標準状態を超えないこと。
 - ・ ワンフィンガー（1本指）
 - ・ ワントリガー（引き金1回）
 - ・ ワンショット（単発射撃 ※1バレルにつき1発）

ただし、上記を満たしていても、試合で使用するには不適切であると運営によって判断された場合、その装備品は使用禁止とする。

- パワーソースは、電動、ガス、エアコッキングの使用を可能とし、以下の事項を遵守すること。
- ガス式については、外部ソースによるガスタンクのウォーミング行為は禁止とする。
- 純正状態でトレーサーを使用できないエアガン（一度の射撃でBB弾を複数発射するショットガンなど）、外部ソース、CO2ガス、電磁弁の使用は禁止とする。
- モスカート、グレネード、クレイモア、排莖式等の使用は禁止とする。
- フラッシュライトの装着は可能だが、発光禁止とする。
- 安全を脅かすと考えられる装備等の装着がないこと。
- その他、上記確認を実施できないエアソフトガン、あるいは運営や審判員が危険と判断した装備品の使用を禁止とする。

【9】 装備品の検査

- UAB競技の開始前、あらかじめ指定された時間内に、競技者が使用する装備品の検査を実施する。
 - 検査へ持ち込み可能なエアソフトガンは、一人につき3挺までとする。検査をパスしたエアソフトガンのうち、2挺までを試合に使用することができる。
 - 検査終了後、運営の指示があるまで、これらの装備品の調整行為を含む接触は禁止とする。
- ただし、以下の行為については、運営の許可を得たうえで実施することができる。
- ・ バッテリーの交換
 - ・ トレーサーの電池交換
 - ・ ガスのチャージ
 - ・ 弾込め
- 試合間での上記行為についても、指定エリア内にて実施することとする。
 - セーフティにて装備品の修理等を行う必要がある場合、運営の許可を得たうえで実施することができる。
 - 試合終了後、運営の求めに応じて装備品の検査を実施する。規定に違反する装備品を使用していた試合は、チーム敗退となる。

【10】ペナルティ・キャリア・フォワード・システム

UAB2競技中、ルールに定められた禁止行為が見受けられた場合、それに応じたペナルティを課すものとする。

●すべてのペナルティは、シングルアウト（当該プレイヤーの退場）を適用し、さらにポイントとして以下のように累積される。

・ノットコール：2P

・ノットコールを除くすべてのペナルティ：1P

●5P累積となった場合、チームプレイヤー2名のうち1名が次戦出場停止となり、その時点で累積ポイントはリセットされる。その際、どちらのプレイヤーが次戦出場するかはチーム内で協議可能とする。

●準決勝について、それまでの試合でペナルティポイントが5P以上累積しているチームは、準決勝においては2名で参加可能だが、先勝することで累積ポイントをリセットすることができる。よって、当該チームは2連勝することでしか決勝戦へ進むことができない。

●準決勝において勝利したチームにノットコールがあった場合、決勝においても同様の措置をもって累積ポイントをリセットすることができる。

【11】禁止行為規定

●禁止行為に関しては、参加中のUAB競技からのチーム失格を含め、厳格な措置を行います。

●暴言、暴力行為、侮辱行為、挑発行為、遅延行為。

●スポーツマンシップに反すると判断される行為。

●その他、オフィシャルによって禁止行為と判断される行為。

・ シングルアウト対象（場合によってはチーム敗退の可能性あり）

●電波を発する機器を使用したコミュニケーション。

・ シングルアウト対象

●ノットコール：被弾についての自己申告、バースト・フルオート射撃についての自己申告、フルオート一時使用の審判への事前申告を行わないこと。もしくは、それらの申告が遅れること。また、ガントラブル時、一時的にフルオートを使用する場合は必ず審判に申告し、審判が頷いてから行うこと。その際、銃口を下に向けて行うこと。

●ラインアウト：装備品を含む身体の一部が境界ラインに触れること、あるいは境界ラインを越えること。

●走り込みながら射撃し、相手プレイヤーをヒットした後に止まり切れずラインアウトまたはバリケードにぶつかるなどした場合、危険行為とみなし当該プレイヤーを退場とする。また、その射撃は無効とし、被弾したプレイヤーをアライブとする。

●スタート時のフライング。

●被弾後の射撃。

●バリケードの破壊および移動。

●ブラインドショット。

●バリケードの上部を通した射撃。

●BB弾の手投げ等、銃口以外からのBB弾発射。

●拾い弾の使用。

●ヒットコール後の情報発信。

●試合一時中断中の移動、索敵、射撃、情報発信。

●発光体や音響機器を含む装備品を悪用して競技や試合進行を妨害する行為。

●競技者装備の規定違反が試合中に確認された場合。

●明らかに跳弾を狙った射撃。あるいは、明らかにエアガンを傾けた曲射。

●過度なホップ調整によって弾道を曲げた射撃。

●試合中のバッテリー交換およびガスチャージ、工具を使用したエアガンの調整行為。

●UAB競技中の「UAB2競技フィールド」以外での一切の射撃。

●トレーサーの発光不良、または電池切れ。

※競技中に審判が発光不良を認めた場合、プレー続行不可能とみなし、当該プレイヤーは退場とする。

※競技中にプレイヤー自身が発光不良を認めた場合、直ちにヒットコールをして退場しなければならない。

※発光不良を伴う射撃による被弾は、有効とする。

※発光不良の隠蔽など悪質な行為が見受けられた場合、審判による裁定の上で、厳正なペナルティを与える。

【12】 禁止行為規定（ペナルティ）

- トレーサーの発光不良の場合を除き、禁止行為を伴う「射撃」を無効とする。それによって被弾したプレイヤーは、アライブとなる。
- 禁止行為を伴う「射撃」で被弾したプレイヤーに対し、同じタイミングで異なるプレイヤーからの有効弾があった場合、これも無効とする。

【13】 競技規則

- 被弾時は、直ちに大きな声でヒットコールを宣言しなければならない。
- 被弾時は、手を頭より上に上げて速やかにフィールドより退場し、「デッドBOX」に移動して待機すること。
- フレンドリーファイア（味方撃ち）は、撃たれた側のプレイヤーのみヒット扱いとする。
- 跳弾のヒット判定は、有効とする。
- 退場時にはマガジンを抜かないこと。
- ガントラブル時（セミロックや装弾不良など）の解除方法
 - ・フルオート一時使用やガントラブルリカバリーについては、審判に申告して承認を受けたのち、銃口を安全な方向に向けて行うこと。
 - ・その際の跳弾含むすべての被弾は、有効とする。

【14】 特記事項

- UABは、基本的には自己判定によるヒットが大前提となる競技です。
- 競技特性上、正確なヒットの自己判定ができる衣類、装備での競技実施をお願いいたします。
- 他者（特に審判）から見た被弾判定を明確にするため、白色をベースとする衣服および装備品の着用は禁止とする。
- 運営が競技に適さないと判断した衣服・装備品は、着用を禁止する場合がございます。
- UABは、18歳未満の方の競技出場をお断りしております。あらかじめご了承ください。
- 参加者は、上記規定以外で不測の事態が発生した場合、その事態を試合中であれば運営スタッフへ、それ以外は大会主催者へその処置を一任し、その判断に従うものとします。
- 運営側にて、悪質なルール違反者であると判断した場合は、当日の大会からの退場や、それ以降のエントリー等をお断りする場合があります。
- 大会当日は、駐車場が大変混雑する恐れがありますので、車で乗り合わせでのご来場を強くお勧めいたします。

【15】 免責事項

- 大会開催中に発生した怪我、犯罪被害（窃盗等）、事故等、参加者が受けた不利益に対しては、運営および大会主催者、開催フィールドマスターは、一切の責任を負いかねるものとします。